



本原支局長から助成金を受け取る倉田哲也さん(左)
熊本市の朝日新聞熊本支局で

くまもと障害者労働センターに助成金
本社厚生文化事業団
朝日新聞厚生文化事業団の九三年度朝日福祉助成金の贈呈団体に選ばれた「くまもと障害者労働センター」(熊本市保田窪本町)の倉田哲也代表(三三)に三十日、助成金五十万円が渡された。

センターのメンバーは障
度の身障者が十三人、回収
した牛乳パックを生協や興
紙会社に売ったり、名刺や
年賀状の印刷をしている。
熊本市花畑町の朝日新聞熊
本支局で、本原男支局長
から助成金を受け取った倉
田さんは「これから忙しく
なります。助成金で新しい
印刷機を買いたい」と話し
ていた。

ありがとうございました

11月30日に朝日新聞厚生事業団より50万円の助成金を頂きました。この50万円は労働センターの通信や注文書、チラシを作成するための印刷機を購入したいと思えます。通信やチラシは、労働センターと地域の人とのコミュニケーションの一つでもありますので、大変嬉しいことです。

11月7日に大同生命より県内の小規模作業所5ヶ所10万円(寄付)を頂きました。労働センターでは、地域で自立生活している障害者で労働センターに通っている人で入浴する人に湯沸かし機とシャワーを付けました。障害者にとって入浴は困難が多いので、シャワーだけでもあると違うので、大変嬉しく思います。

また、パイロットクラブよりファクシミリを頂きました。みんな大切に使いたいと思えます。

1月2月は、土・日休みにします

いつも労働センターにご協力頂きありがとうございます。

今年9月より12月まで労働センターは、大変多忙だったため、休日がありませんでした、それで代休として1月と2月は土曜日もお休みにさせていただきたいと思えます。ご利用いただいている方々にはご迷惑をお掛けしますがよろしくお願ひ申し上げます。ご用の方は留守番電話又はFAXをご利用ください。

(センターには、緒方君が住んでいますので、ご用件のある方は緒方君にお伝えください)。

電話・FAX 共通 096(385)0861

生協祭りに参加しての感想

野口 美恵子

11月14日北支部にて生協祭りがありました。労働センターからは4名で参加しました。

緒方君、野口とボランティアの深江さんと深江さんの子供さんにお手伝いをいただきました。労働センターの商品を販売させていただきました。

無農薬コーヒーが一番好評でした。売り上げは8,400円でした。手すきのハガキも買っていただきました。天気も良かったのでお客さんも多く売り上げもあったので良かったです。この場を借りてお礼申し上げます。

生協の皆様お疲れ様でした。それとお昼のカレーとても美味しかったです。

当日の荷物運びができなくてすみませんでした。ちょうど運転手がいなくてご迷惑をおかけしました。とっても楽しかったです。有り難うございました。これからも労働センターをよろしく願います。

ハートフル

希望荘文化祭に参加しての感想

市瀬 恵

11月14日の朝10時から夕方3時まで、二階の大ホールで希望荘の文化祭がありました。

去年の司会者はうんばば中尾さんでしたが、今年の希望荘の司会者は水間まゆみさんでした。

希望荘の一階の休憩室では女子高校生のお茶室があったので着物着付の皆さんとお茶を飲みに行きました。その時はすごく人が多かったのですが後でのお茶に行きました。

それから1:45分から着物着付の発表をしました。去年は回りの人に文子結びを手伝ってもらいましたが、今年は一人で文子結びをしたのでとても緊張したけれどうまくできました。

最後になりましたが11月14日は着物着付の皆さんお疲れ様でした。

入院生活を振り返って

久島 雅樹

私は、7月22日にアルコール多量飲酒による急性肝炎を起こし鶴田病院に入院しました。

入院前より自分で「肝臓が悪い」とは思っていました。入院を拒否していましたが、しかし、どうにもこうにもならないくらい体がきつくなり入院となりました。入院当初はとにかく体がだるくて「このまま死ぬのかなあ」とか色々考えました。そして、入院2日目くらいから幻覚症状が出て、院内を暴れたりして脱走までしました。

幻覚症状と言うのは、長年アルコールを飲酒してきて、そのアルコールを急に止めた時に現れてくる症状で実際には見えないものが見えてきたり、何も言われていないのに、何か言われているような症状を言います。多くの人の体験を聞くと、たいていの人が虫の群れが襲ってくるように見えたり悪口を言われているように感じるそうです。私の場合だと労働センターのメンバー全員が見えたり、院内の個室が自分の部屋のように見えたり、今まで知り合ってきた多くの友達が見えたりしました。又、脱走した時後ろから綺麗な女性が追いかけてくるようにも見えました。そして、まる2日間は一睡もしなかったそうです。その後眠りについて気が付いたら横に看護婦さんがおられ「気が付いたね」と優しく声を掛けてくれました。その時やっと自分が入院していることを認識しました。その後主治医の先生から『アルコール依存症』と診断されました。それからアルコール専門病院に入院してみっちり勉強してきました。

今後、『アルコール』についてシリーズとして連載していきたいと思います。お楽しみに。
編集長

連載 No.2 北野 誠一 講演録

「障害者運動と共同作業所・共同事業所運動の展望」

まず、世界の運動のことですが、我々が使えそうな事だけお話ししておきますと、アメリカの自立生活運動ですが、使えそうな事というのはもうあんまりありません。というのは生意気な言い方かもしれませんが、やはり日本の障害者の方の地域での活動というのは、アメリカの運動を十年間勉強してきたし、いろんなことはかなり分かってきたんですね。ですから、後は、ほんとに勝ち取るべきものを勝ち取れるかどうか、この一点にかかって

きたと思います。勝ち取るべきものというのは、アメリカの運動でいちばん評価できるのは、一九九〇年に彼らが勝ち取った「障害者差別禁止法」です。ADA法という。

この「障害者差別禁止法」について、ジュディ・チャンバレンというアメリカの精神障害者運動の中心の方にインタビューしたのですが、やはりこれは並大抵の努力で勝ち取れたんじゃないんです。ものすごい長い歴史のなかで、勝ち取ってきたんです。七十年代から運動はずっとあるんですけど、「公民権法」を勝ち取って、その上に今度は「リハビリテーション法」を勝ち取り、この中で、連邦政府、国や自治体からお金をもらっている

民間の企業なり、さまざまなサービスについて、差別は一切許さない、ということ勝ち取って、今度は自治体などが持っている公共の建物はアクセスがなくてはならないし、サービスを拒否したら裁判に訴えられて、刑事罰を受

けるという、厳しい法律を勝ち取ってきた。そして、その法律が出来て、いろんな裁判闘争や運動があって、ときどきは州の建物を占拠、車椅子でぐるぐる取り囲んでみたりしながら、一九九〇年に「差別禁止法」を勝ち取ったのです。

やり方を聞いていて、いちばん凄いなと思ったのは、国会議員さんの家族・親戚関係を調べているんです。それを辿るとどんな人にも家族や親戚あるいは友達など身近な人に精神障害や身体障害や知的障害を持った方がおられるんです。「議員さんは彼らのために何もしないんですか、あなたは必ず彼らを助ける義務がある。あなたの親族、仲間には障害を持った方がおられるじゃないか。あなたは彼らを放っておくのか。」と、すべての国会議員、州の議員さんのお付き合いのなかから必ず仲間を引っ張りだしてくる。だれでも、自分に障害がなくても、家族・友達など身近な人に障害を持った方があるんです。そしてそういう問題を関係者は無視できないんです。そういう形で彼らは運動しました。そして、その国会議員さんとの厳しい交渉のなかで、多くの議員さんは「わかった。今度法律を作るときは手伝う。できたら必ず投票します」という確約を取っているんです。中心になってくれているトム・ハーキンズとかいうのは自分の身近に障害を持った方がいらっしゃる人達です。 つづく

忘年会のお知らせ

今年もあとわずかになり、なにかとお忙しい季節がやってまいりましたが、いかがおすごしですか。

労働センターでも例年どおり忘年会を下記のような日程で企画しましたので、ぜひご出席いただきますようご案内申し上げます。

※当日リサイクルオークションを行いたいと思いますので、何かございましたら当日ご持参ください。

期 日： 12月11日（土）

時 間： 6時～9時

場 所： 障害者労働センター

会 費： 1500円

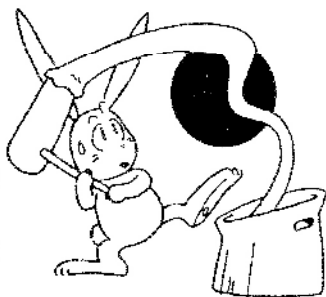
※できれば何か一品食べ物か飲み物を持参していただければと思います。

（事前にご連絡いただければ助かります）



11月の日報から

- 11月2日 バック回収/配達(矢部方面)
- 4日 朝日新聞より視察
積み出し/片づけ
- 5日 バック開き
- 6日 販売(松橋養護学校)
(倉田、緒方、市瀬)
バック連会議(野口)
- 9日 バック連研修会(倉田)
- 10日 販売準備
荷物搬入(東、北支部)
- 11日 積み出し
くまもと生協バック持ち込み
バック開き/ワープロ打ち(入江)
- 12日 くまもと生協バック作業
通信発送準備
- 13日 通信発送準備
県教研販売(野口、倉田)
- 14日 ボランティア週間(山田、吉村)
生協祭り東支部(松井、入江)
生協祭り北支部(緒方、野口)
県教研販売(倉田)
希望荘文化祭(市瀬)
- 16日 商品回収(東、北支部)
バック開き(吉村、入江)
ワープロ打ち(緒方)
- 17日 トレハ配達/ダンボール回収
- 18日 積み出し
値段張り ビニール詰め
- 19日 商品配達(泗水東小学校)
販売商品配達(NHK)
- 20日 在庫整理(倉田、野口)
ワープロ(入江)/通信下書き(市瀬)
- 21日 NHK販売(吉村、野口、倉田)
YMCA見学(松井、市瀬、入江)
- 22日 販売用煮(野口)/ワープロ(倉田)
- 23日 石三 修氏講演会
- 25日 積み出し
- 26日 環境フェア(緒方、吉村、野口)
- 27日 環境フェア(野口、市瀬、入江)
- 28日 環境フェア(松井、倉田、平島、野口)
- 29日 忘年会準備
- 30日 配達(西合志東小学校)
バック回収(西合志東、向山
東町小学校)
朝日新聞贈呈式(倉田)



11月のバック回収から

11月2日	健軍小学校	4.5kg
	浜町小学校	6.1kg
	画図小学校	83.4kg
	東町小学校	26.8kg
	向山小学校	97.3kg
	慶徳小学校	39.6kg
	西合志中央小学校	35.3kg
	楠中学校	28.4kg
	合志南小学校	1.5kg
5日	合志南小学校	5.3kg
6日	百田様	1.1kg
	西南ロータリークラブ	7.7kg
	キッチン岡田	5.5kg
8日	緒方様	0.6kg
	三協スポーツ	3.4kg
9日	桜木小学校	51.7kg
	熊大生協	17.3kg
10日	和田様	20.2kg
	西原小学校	53.7kg
11日	託麻西小学校	15.9kg
	ふくし生協 個人	7.9kg 8kg
15日	南小国婦人会	25.8kg
	下山さん宅	7.2kg
17日	帯山小学校	42.1kg
	松橋養護学校	178.1kg
19日	有機の会	11.1kg
	ヤマギシ	84.4kg
20日	月出小学校	83.4kg
24日	熊大生協	1.0kg
25日	長嶺小学校	74.7kg
30日	羽江様	3kg
	西合志東小学校	66.4kg
	河内中学校	67.2kg
	東町小学校	24.5kg
	向山小学校	43.7kg

編集後記

寒い日が続きますが風邪をひかずに年末を迎えたいですね。

皆様からの原稿もお待ちしています。

編集長代理 入江 良一

〒862 熊本県熊本市保田窪本町5-29

くまもと障害者労働センター

TEL・FAX共通 096-382-0861

編集長 久島 雅樹

一九八〇年五月十三日第三種郵便物認可(毎月三回一・五・十の日発行) 発行一九九三年十二月五日(定価五〇円)
 発行人 熊本県身体障害者団体定期刊行物協会 熊本市国府三丁目二二八九(友村方)